



# 鉄道唱歌に



## ♪鉄道唱歌（第1集より一部抜粋）

45. <sup>おおいしよしお</sup>大石良雄が山科の <sup>かくれが</sup>その隠家はあともなし 赤き鳥居の神さびて 立つは伏見の稲荷山 ①
46. 東寺の塔を左にて とまれば七条ステーション 京都京都と呼びたつる 駅夫のこゑも勇ましや ②
47. ここは桓武のみかどより 千有余年の都の地 今も雲井の空たかく あふぐ清涼紫宸殿 <sup>ししんでん</sup> ③
48. 東に立てる東山 西に聳ゆる嵐山 <sup>るび</sup> かれとこれとの麓ゆく <sup>ふもと</sup> 水は加茂川桂川
49. 祇園清水智恩院 吉田黒谷真如堂 流れも清き水上に 君がよまもる加茂の宮 <sup>かものみや</sup> ④
50. 夏は納涼 <sup>すずみ</sup>の四条橋 冬は雪見の銀閣寺 桜は春の嵯峨御室 <sup>さがおむろ</sup> 紅葉は秋の高雄山
51. 琵琶湖を引きて通したる <sup>すいすい</sup>疎水の工事は南禅寺 岩切り抜きて舟をやる 知識の進歩も見られたり ⑤
52. 神社仏閣山水の 外に京都の物産は 西陣織の綾錦 友禅染の花もみじ
53. 扇おしろい京都紅 <sup>さき</sup> また加茂川の驚しらず 土産を提げていざ立たん あとに名残は残れども

### 注釈

- a 大石良雄……………浄瑠璃や歌舞伎の『仮名手本忠臣蔵』で知られる、いわゆる赤穂浪士の中心人物
- b 清涼紫宸殿……………京都御所の、天皇が日常的に過ごした清涼殿と、即位などの重要な儀式に使用した紫宸殿
- c 加茂の宮……………上賀茂神社（賀茂別雷神社）・下鴨神社（賀茂御祖神社）
- d 疎水の工事……………南禅寺水路閣など、2019年7月号「琵琶湖疎水」にて紹介した（右の二次元コード参照▶）



## 名所紹介

### ① JR稲荷駅ランプ小屋

稲荷駅は明治時代、東海道線の駅として活躍していた。現在は経路が切り替えられ、奈良線の一駅となっている。

当時倉庫として使用されていた「ランプ小屋」は、国鉄最古の建物として近代化産業遺産や準鉄道記念物に指定されている。



・JR稲荷駅構内、奈良行ホーム側  
・内部見学は受け付けていない

### ② JR京都駅

JR京都駅の「34番のりば」はその数字の大きさと日本一を誇る。これは、山陰線ホームの番号を語呂合わせとなる31で始めるよう1994年に変更されたためである。

この他、東西に連続する0番・30番のりばの全長も日本一であり、合わせて558mある。



▲北陸方面の特急（手前、0番のりば）と閑空特急（奥、30番のりば）

# 見る京都



皆さんは『鉄道唱歌』をご存知だろうか。NHK教育『クインテット』の「山手線の歌」などでメロディを聞いた方もいるかもしれない。

今回は「途中下車」をして京都観光を楽しむ『鉄道唱歌』を、歌という観点から紹介するとともに、歌詞中の名所も取り上げる。（針鼠）

## 一 汽笛一声新橋を はや我が汽車は離れたり……

鉄道唱歌。皆さんの中には、名前は知らずともメロディを聴けば知っていたという方もいるかもしれない。明治33年に発表された鉄道唱歌は、沿線の旧跡や見所を七五調でテンポよく歌う、まさに「居ながらの旅」を実現させるものであった。鉄道という新たな技術により人々の旅のスタイルが大きく変わった当時は、これに倣って各地の鉄道を歌った唱歌が作られるほどに流行した。

「第1集 東海道編」は東京・新橋から神戸までを全66番、約30分で紹介している。分量は多く淡々と歌いつつも、リズムカルで時折変化するメロディは決して単調に感じさせず、どこか当時流れていた時間を思い起こさせるかのようだ。また、名所の多い地では寄り道をすることも多い。特に京都は、列車が到着してからの観光に46～53番の8曲を、車窓を中心とした45番を含めれば最多の9曲をかけて取り上げられており、明治以前から築いていた観光地としての地位を改めて認識させられる。

鉄道唱歌に歌われた風景の中には当時から大きく変わったものも多いが、以下で紹介する京都の名所とともに、皆さんに縁のある地がどのようなであったのか、ぜひ思いを馳せてほしい。



## 鉄道唱歌 全曲

[地理教育 鉄道唱歌 全5集334番]

キングレコード (KICG-3252/4)

歌 : ボニージャックス

定価: ¥4,762+税

鉄道唱歌はその長さから一部が省略されることも多いが、このCDは完全版と言えるものである。

## ③ 吉田神社

平安京の鎮守社として創建された。吉田山一帯に広がる境内の中には全国八百万の神を祀る大元宮があり、全国の神社に参ると同じご利益があるとされる。

毎年2月2日～4日に行われる節分祭は厄払いの神事として全国的にも有名である。



▲吉田神社内、齋場所 大元宮

## ④ 四条大橋と納涼床

四条大橋は四条河原町と祇園を結び、観光客や京阪と阪急との乗り換え客など、人通りが多い。

鴨川納涼床は「ゆか」と呼ばれ、二条大橋から五条大橋までの区間で5月から9月末まで設置される。このほか、貴船や高雄でも「川床」が楽しめる。

